

# 卒業論文の作成について

2017年12月5日  
実践真宗学研究科1回生 菅 信亮

## 1. 論文を書くときの心づもり

### 1-1 最後の1か月は、卒業論文に磨きをかけよう

- ・書いた文章は、こまめに、何度も読み返す
  - がむしゃらに文章を書いているときには気づかない粗を探す
  - 学生同士で読み合ってもよい、いろいろな意味で刺激にもなる
- ・所属ゼミの先生に添削をしてもらう
  - 記述の不十分な点、蛇足の部分、論旨の歪みなどを指摘してもらう
  - ※先生に都合をつけていただけるよう、早めに動くこと!!
  - 先の話だが、試問の準備にもなる
- ・(3年生の皆さんへ) 題目提出の10月上旬までに資料を集め、とにかく書いてみる
  - 本文を書きだしてから、題目を調整する必要性が生じる場合もある

常に逆算して動くことを念頭に置いていただきたいです。焦らずに済みます。焦りは考察を鈍らせ、情報の整理を妨げます。動きが速いことそのものが、論文の質のアップに繋がるかもしれません。

## 2. 提出にあたって気をつけること

### 2-1 体裁はとても重要、マニュアルを熟読しよう

- ・すべてのページが、50字×16行(32字×25行)で書かれているか
- ・章ごとの行間の数は合っているか
- ・改行後は、段落されているか
- ・引用文は、2字下げられているか
- ・ページ数を打ち忘れていないか、ページは足りているか
- ・註、参考文献、参考資料は忘れず添付されているか
- ・字数(ページ数)不足は受理不可、超過は先生の認め印がなければ受理不可 etc. ....

### 2-2 不測の事態に備えておこう

- ・1日目に提出するのが基本
  - 明日学校に行けなかったら……
  - 体裁に不備があって、受け取ってもらえなかったら……
- 2日目は、1日目より受付時間が短い!!

- ・データのバックアップは不可欠
  - どんな事故が起きるかわからない
  - USBメモリ、自分のパソコン、学校のパソコン、OneDriveなどにコピーをとる
  - 先生に添削してもらうために送ったメールも、バックアップになる
  - こまめに印刷して、保存しておく

「知らなかった」では手の打ちようがありませんし、卒論の提出締め切りは絶対に融通が利きません。ちょっと大げさですが、皆さんの人生を左右するのが卒論です。

### 3. サポート

#### 3-1 ワードが苦手だという人は

- ・下記のウェブページを活用しよう
  - <http://www.media.ryukoku.ac.jp/kyoto/> (Info Fukakusa/Omiya－龍谷大学)
  - 「学内リンク」にある『卒論のためのWord』をクリック
  - パソコンが苦手なままにしない
  - 体裁のミスの手配もいらなくなる

#### 3-2 これで卒論はこわくない!!

- ・下記のウェブページを活用しよう
  - <http://shinshu-gakkai.omiya.ryukoku.ac.jp/> (龍谷大学真宗学会)
- ・4回生必見「卒業論文作成について」
  - 「卒業論文評価基準」「真宗学科卒業論文提出チェックシート」「卒業論文作成マニュアル」
- ・3回生もぜひチェック「真宗学科学生論文集」
  - 近年の先輩の優秀な論文が掲載されている、お手本のサイト

卒業論文作成は、独りでこつこつとするものではありません。責任を自覚していただく必要はありますが、重圧を感じる必要はありません。

卒論は必ず、一つの思い出になります。楽しんで取り組んでみてください。